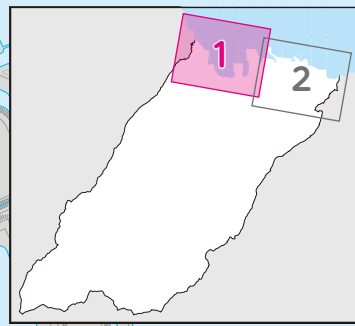




1:10,000
0 100 200m

津波ハザードマップについて

このハザードマップでは、福岡県内の沿岸部で想定されている最大クラスの津波※1が、建物等に衝突した際のせり上がりの高さを「基準水位」として地図上に示しています。
【平成30年3月 福岡県作成】
最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合として、国や県で検討された断層モデルをもとに、構造物が破壊される場合などを考慮して想定しています。
実際には地震による地盤変動や構造物の変状などにより、このハザードマップに示した浸水区域以外でも浸水したり、浸水深がさらに大きくなったりする可能性がありますのでご注意ください。

■ 潮位について

海域：2011年と2012年の潮位観測結果に基づく朔望平均満潮位※2
河川内：平水流量※3または沿岸の朔望平均満潮位と水位

■ 地盤の沈下について

地盤高については、地震動による地盤の沈降を考慮

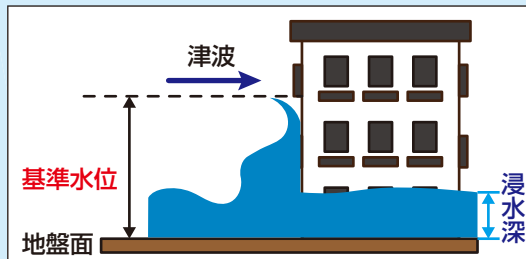
■ 構造物について

- (1) 地震や津波による各種施設の被災を考慮。また、水門等については、耐震性を有し自動化された施設、常時封鎖の施設等以外は、開放状態として取り扱う。
- (2) 各種構造物については、津波が越流し始めた時点で「破壊する」ものとし、破壊後の形状は「無し」とする。

※1 次ページに掲載している各断層モデルについて津波浸水シミュレーションを行い、最大となる浸水域と、浸水深を採用しています。

※2 朔望（さくぼう）平均満潮位とは、新月（朔）および満月（望）の日から5日以内に現れる各月の最高満潮面について、1年以上にわたって平均した値のことを言います。

※3 平水流量とは、河川で1日に流れる水の量を、1年を通じて小さい方から大きい方へ整理したとき、1年を通じて185日はこれらを下回らない流量のことを言います。

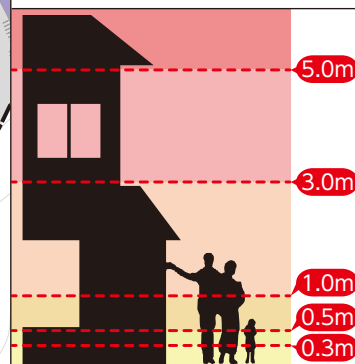


■ 断層モデルについて

各断層モデルについて津波浸水シミュレーションを行い、最大となる浸水域と浸水深を採用

番号	①	②	③	④	⑤
参照	内閣府 「南海トラフの巨大地震 モデル検討会」	内閣府 「南海トラフの巨大地震 モデル検討会」	国土交通省・内閣府・文部科学省 「日本海における大規模地 震に関する調査検討会」	福岡県の独自断層	福岡県の独自断層
断層モデル	ケース4	ケース11	F60 (西山断層)	対馬海峡東の断層	周防灘断層群主部
マグニチュード	Mw=9.1	Mw=9.1	Mw=7.6	Mw=7.4	Mw=7.2
震源域					

基準水位	
	5m以上～10m未満
	3m以上～5m未満
	1m以上～3m未満
	0.5m以上～1m未満
	0.3m以上～0.5m未満
	0.3m未満



防災関連情報	
	指定緊急避難場所
	指定避難所
	福祉避難所
	AED設置場所
	市役所
	警察所・交番
	消防署・消防車庫
	有料道路
	国道
	県道

※ AEDについては、令和7年2月時点で市が把握している設置場所です。

© 2024 ZENRIN CO., LTD. Z25FB第345号

周 防 灘

